



平成20年10月15日



# まつかわ百景 ②⑤

## 「北小学校の稲刈り」

ぬかるみに足をとられつつ、見事に実った稲を大事そうに刈り取っていました。  
(10月9日)

2	3	4	5	6	7	8
面	面	面	面	面	面	面
松川町音楽祭	上新井展示発表会	区民演芸会・お気楽会	みんなで仲良く	町の埋蔵文化財	スポーツ・情報	ひとすぼとことどもの詩
						短歌・俳句
						声・べんべん草

私は6年前に東京の高校を卒業し、母方の実家である松川町に引っ越してきました。現在は、祖母と両親と暮らしハウスできゅうりを9aと水稲70a・干し柿を作っています。

全く経験の無いまま就農したので、どうして良

いかわからず、最初はとても苦労しました。農協の指導員の方にもお世話になりましたし、町内の農家に押しかけ教えて頂いたこともありました。また肥料会社に押しかけ話を聞きに行ったりもしました。

私が就農した年にちょうど「若武者」という町の農業後継者組織が発足し、その時からずっと参加しています。その時、松川町は農業をする

若者がこんなにも多いのかと驚き、心強くなりました。入った頃は知らない人ばかり、話の内容もわからないことばかりでしたが、周りの人たちに助けられ、活動を続けることができています。松川町は今も農業をする若

# 主張

## 松川に来て

者も比較的多い状態ですが、それでも町の農業者の減少や高齢化も事実です。松川町も新規就農者への支援、担い手の確保、育成などの対策をしていかないと、将来大変なことになって行くのではないかと思います。

松川町に引っ越して来て驚いたことのひとつは、住む地域によって人の価値観や考え方が随分違うということでした。東京で生まれ育った頃は自分が東京生まれであることを意識したことはありませんでしたが、松川町に来て初めて自分が東京生まれであることを実感しました。戸惑うことも多くありましたが、面白くもありました。これからの農業情勢はどうなっていくかは、まだわかりませんが、ずっと今の土地で農業をしていくか何か別のことをするかもわかりませんが、これから精一杯頑張つて自分のできることをやっていき、将来の目標を見定めていきたいと思えます。

生澤淳始  
いぐさわあつし

平成20年度第19回松川町音楽祭が9月7日午後1時より町民体育館トレーニングルームにおいて、松川町教育委員会・松川町公民館主催で開催されました。発表は第1部合唱と、第2部の演奏にわかれ全部で12の演目がありました。

# 第19回 松川町音楽祭

平成20年9月7日(日)



松川中央小学校合唱団

今年度は新しい団員が大勢入り、4年生、5年生、6年生あわせて50人余のメンバーで活

### 松川中央小学校合唱団

今年度は新しい団員が大勢入り、4年生、5年生、6年生あ



松川コーラスクラブ

動しているそうです。感じの違う曲を3曲合唱しました。2曲目の「からすかねもん かんざぶろう」は伴奏なしのアカペラを3部に分かれて歌うもので、短い曲目でしたが、大人数の利点をいかし、パート毎よく声がでていたように思われました。

### 松川コーラスクラブ

「花の街」「夏の思い出」はラジオ番組・ラジオ歌謡から採用した曲だそうです。女性のみ9人でピアノの伴奏で歌をうたいました。きれいな歌声に満座が聴き入りました。発表された3曲ともに出演者の声にあわせて選曲されている感があり、クラブの力が程良く発揮されていました。

### 松川東小学校

全校児童で参加。一人ひとりの歌声がしっかりとており、聴衆を魅了しました。歌い手



女声コーラス桐

「きこえる」は、小学生にはやや難しいのではないかと考える曲目でしたが、見事に歌いこなしていました。歌をうたう事でク

全員が指揮者の指揮をよく見てうたっていました。曲の中で小さく歌うところは小さくうたい、声を出すところはしっかりと出す、実にメリハリの効いたうたい方でした。

### 女声コーラス桐

毎週月曜日に浦野先生の御指導のもと楽しく練習しているそうです。女性のみ13人で合唱を構成しました。低音から高音へパートがわけられていて、うたい出し、サビの部分の強調、力点を変えるなど工夫をし、1曲1曲に気持ち



松川東小学校

### 松川中央小6年1組

6年1組は総合的な学習を通して「歌の楽しさを広げ伝えて、歌を多くの人に残しているこう」をテーマに活動しているそうです。1曲目のハン

ドリズムは、指ぶえと腰・腕をたたいて音をだし曲を構成させるものです。手で体の一部分をたたき事によりリズムをききま



松川中央小学校金管バンド

中央小の金管バンドは毎朝練習をがんばっているそうです。トロンボーンからトランペットまで様々な楽器で効果的に曲を構成していました。指揮をよくみて、正確な音を出す

松川中央小学校金管バンド

ラスにまとまりができるのは素晴らしいですね。



松川中央小6年1組

のが難しいようでしたが、皆さん真剣に演奏していました。

松川北小学校金管バンド

楽器自体のよい音が出ていた印象がありました。児童も先生の指揮をよくみて演奏しており、打楽器も強弱がメリハリがよくついていました。

なお、北小金管バンドで使っている楽器の中には、町



松川北小学校金管バンド

松川高校吹奏楽部

民の皆さんや保護者の方々から買っていただいたり、寄贈していただいたものもあるそうです。

「アララの呪文」「宙船」を演奏しました。「アララの呪文」は聴衆も手をたたきながら聞きました。人数こそ少ないものの、お互いを思いやる心が



松川高校吹奏楽部

伝わってきたように思います。

松川中学校吹奏楽部

「水河特急」、「キセキ」を演奏しました。今年は1年生が28人加わり、昨年以上に迫力ある演奏となりました。「キセキ」は有名ドラマの主題歌で、おもしろい曲です。観客もいらっしやいました。



松川中学校吹奏学部

松川吹奏楽団

NHK大河ドラマ「篤姫」のメインテーマとして崖の上のポニョを演奏しました。プロの演奏を聞いているかのように、音にムラがなく、そつなく一つの曲をつくり上げていました。「崖の上のポニョ」ではソロで聴かせる部分もあり



松川吹奏楽団

全ての演目を通じて、出演者のひたむきな努力を感じる事ができました。今年の音楽祭も内容の充実した演目でした。来年の音楽祭も内容の濃い吹奏・合唱が楽しめると思います。

エンディング

「ベリーブ」を出演者全員の演奏で来場者が歌い、全ての演目を終了しました。



エンディング 「ベリーブ」



松川吹奏楽団and松川中学校吹奏学部

# 上新井区民演芸会・

## 上新井区展示発表会

地区館社会部 米山 敏

上新井地区公民館では、毎年9月15日の敬老の日に、上新井区コミュニティセンターで地区館主催の「上新井区民演芸会」を開催しています。

今年は何年に比べると、出演するクラブや団体等がやや少なめでしたが、少数精鋭の出演になりました。プログラムでは、双葉保育園の元気な園児たちのダンス、息の長い活動を続ける「五月会」や「すみれ会」の舞踊、小学生のダンスチーム「ミニパーション」がステージ狭しと日頃の成果を披露しました。ひととき異彩を放ったのは、地区館ユニット「でぶや」によるシオートコ



ニューパッション

場者の皆さんが打立ての香り高い蕎麦を堪能されました。また同会場で、9月14日から16日まで開催された「展示発表会」では、「かな文字クラブ」や「草の実短歌会」による書や短歌、地区内の愛好家による油絵や水墨画、鮮やかなパッチワークなど力作ぞ



地区館ユニットでぶや

ントとダンスであり、「おれおれ詐欺」を題材にしたユーモア溢れるショーでした。最後は、女性だけの和太鼓グループ「ゆの鼓凧」の皆さんによる迫りある和太鼓演奏で幕を閉じました。当日、会場内では「そば打ちの会」による蕎麦打ちの実演会と試食会が開催され、来



ゆの鼓凧

ろいの出展でした。盛況のうちに終えた上新井地区の「区民演芸会」及び「展示発表会」も、出演・出展されるクラブ数の減少や、参加者の高齢化が進み、より若い世代の公民館活動への参加が当面の課題として残りま



七椏神社奏楽保存会

ほかにもいろいろな症状はあるようですがこれらは強迫神経症の症状でもあり、「思い当たることがあれば、一人で悩まずにお気楽会に相談してほしい。悩みを持つもの同士が集まり、相談したり人の話を聞く

- そんなことありませんか？
- ガスの元栓や戸締まりなど、何度も何度も確認しないと気になっ
- 手を何度も洗っても、気になりまた洗ってしまふ。
- 人の視線がとても気になる、人に対して不安。人を避けるようになってきた。
- 一つの考えが頭から離れず、一度考え始めるとほかの事が何も手につかない。

そんなになんか考え込まないで、もつと気楽に構えて人生を楽しもう。お気楽会のモットーです。悩みを持つもの同士が集まって話し合い、お互いにアドバイスしあおうと呼びかけるのは、原田の宮下政則さん。宮下さん自身がかつて大きな悩みを抱えその経験から、悩みを持つ人が相談できる場をつくること

### お気楽会で お気楽に



宮下政則さん(原田) お気楽会のお問い合わせは… 090-3231-0569 メールアドレス okiraku-kai@docomo.ne.jp <お気楽会専用>

ことで少しでも気持ちを楽に、『お気楽』になりましょう」というのがお気楽会の目的です。「まずは会に入らなくても電話での相談だけでもいいですよ」とおっしゃる発案者の宮下さん。宮下さんは現在介護士をされており、決して専門の相談員などではないとのこと。しかし、自分自身も同じように悩みを抱え、そのために病院通いまでされたそうです。その経験をいかして人の役に立てればと、お気楽会を立ち上げました。「しなくてはならない」という気持ちや「人からこう見られていけない」「強くない」という思いの強い人は、同じような悩みを抱えやすいそうです。「そんな悩みで人生の貴重な時間をふいにして欲しくない」と熱心に語ってくれました。

問題  
考える  
みんな  
で  
権考  
人  
を  
仲良  
く

## いじめは命を奪うもの

松川中学校 1年 桜井愛梨

今の時代、いじめによって命をおとってしまった方が何人もいます。私はなぜ、いじめが起きてしまったのか。なぜ自殺まで追い込んでしまったのか、不思議です。

私は、実際に小学校の頃、いじめにあつて、障害を抱えてしまった方の話をお聞きしたことがあります。無視をされたり、けられたりされたそうです。けれども、その方は、一人で抱え込んでしまったそうです。もし、親に知られたら、きつと心配してしまうだろう。と思つたからだそうです。その結果、障害を抱えてしまったのです。それでも、よく一人で耐えてきたと思います。

でも、その時、親や教師が気付いていれば、障害を抱えることは、なかつたかもしれません。周りにいる人達が、

「やめろよ。」と言つていれば、こんなに苦しい思いをすることは、無くなつていたかもしれません。でも、もしその現場にいても、「やめろよ。」とは、簡単に言えないと思ひます。とても勇気がいることだし、不安もいっぱいです。でも、そのかべを乗り越えることができたらいと思ひます。私は、そんな人が、一人でも増えてほしいです。

命はとても大切なものです。それが、いじめによって失われるという事は、あつてはいけません。そのいじめを無くすことで、命を失わずにすむし、人生もきつと、いい方向に進むと思ひます。

私は、ある雑誌で、昔、いじめにあつた人のコメントを読みました。みじめで、心細い思いをしていたそうです。でも、「私は負けない。」という思いを表したら、いじめは無くなったそうです。その人は、こう語っています。「いじめがあつたから、強くなれたんだ。」と。私は、「何て心が強い人なんだろう。」と、思ひました。でも、「心が強くな

い人も、生きやすい世界のほうがいい。」ということも書かれていました。私も、それが一番いいと思ひます。でも、実際は、そんなこと、無理だと思ひます。いじめをして

る人が、「自分は、人を傷つけているんだ。」という、自覚をしてほしいです。そのためには、周りにいる人達が、気付かせてあげなくてはけません。「やめろよ。」と云える、その勇気がすべてを変

えるのです。いじめにあつて

る人は、もつとつらいんです。どうか、人の命を見捨てないで下さい。命は、一つしかない、かけがえのないものです。このように、いじめとは、みんなが努力して変わつていかなければいけません。

いじめによって、命が奪われる。そんな世の中を変えていきたいです。今を生きる人達の未来のためにも、みんなが変わつていき、明るい社会を、築いていきたいです。いじめは絶対に、いけないことです。

## 松川町の文化財

(353) 埋蔵文化財 (251)

文化財シリーズ

### 連載250回を感謝して

教育委員会 酒井幸則

松川町公民館報のシリーズ「松川町の文化財」は昭和46年5月号(通算106号)から北原保喜先生により獅子神楽、城址、仏像、童歌、俗信、古墳、方言などが昭和57年10月号(28号)まで104回にわたつて連載されました。

昭和58年5月号(235号)より、同じシリーズの「松川町の文化財」として町の埋蔵文化財について紹介を依頼されたから実に25年、知らないうちに先月号で250回を迎えていました。当時、私は松川町就職以前で、たまたま生田倉平の発掘調査を担当していた縁で、下平勉久主事より、「遺跡調査の様子を館報で町民に知らせしてほしい」とのことから、何となく始まつたのでした。

りしました。初めの頃は、専門用語ありでなかなか難解、今見ると肩肘張つた硬い文章で、町の皆さんに理解していただくかは疑問です。しかし継続ということはありがたいものです。難解なものを少しでも理解していただくこと、その方法を、この館報の執筆を通じて学ぶことができました。はたして何人の方に読んでいただいているかはわかりませんが、町の小さな記録として何かを残せたのかな?とも自負しております。

とにかく250号まで続けさせていただけただけの皆さんに感謝するとともに、少しでも町のためになるよう、残された年月、これからもできる限り努力していきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



# 秋空のもと さわやかスポーツ

## 第24回中部伊那 軟式野球松川大会

9月7日運動公園、松川高校、航空電子のグラウンドにて13チームが参加しトーナメント戦が行われました。

優勝 モスキート  
準優勝 ブラックスストーンズ  
第3位 TEAMマジ  
ファイヤーフレンズ

## 生東地区 スポーツ大会

9月14日生東地区公民館スポーツ大会が行われました。結果は次のとおり。

グランドゴルフ成績  
(チームの部)  
第1位 中山4-2 127打  
第2位 中山7 135打  
第3位 中山3 138打

## マレットゴルフ成績

第1位 橋場利市 60打  
第2位 清水益夫 65打  
第3位 松下敏彦 66打



## 本館行事

### 松川町駅伝大会

期日 11月2日(日)  
時間 午前8時 開会式  
午前9時 スタート  
会場 上片桐町営グラウンド  
スタート・ゴール  
その他 沿道での熱い応援を  
お願いします

### 街頭あいさつ運動

期日 11月10日(月)  
場所 町内各所・学校周辺  
時間 7時〜8時

## 高齢者講座

「高齢者の料理教室」  
期日 11月14日(金)  
場所 中央公民館  
時間 午前10時  
講師 栄養士 林龍子氏

## 家族で遊ぼう

(第1回)  
期日 11月4日(火)  
会場 おひさま  
内容 リズム遊び

## (第2回)

期日 11月18日(火)  
会場 おひさま  
内容 子育て講座

## 地区館行事

### 上新井地区公民館

### パドミントン大会

期日 11月23日(日)  
場所 町民体育館

### 名子地区公民館

### 区民演芸会

期日 11月1日〜2日  
場所 町民体育館

### 上片桐地区公民館

### 上片桐地区文化展

期日 11月1日〜2日  
場所 上片桐地区公民館  
改善センター

## 男女共同参画自主グループ

松川町食の聞き書きの会で本を発行

# 「頑張って暮らしたんだに」

～「食」を通して触れる苦難の暮らしの歴史と心豊かに生きた生活史～

現在では、地産地消という言葉で地域で生産された物を地域で消費することこそ大切だと言われるようになりました。しかし、一方ではファーストフードとかインスタント食品が都合よく使われていることも事実です。

小学校から高血糖、高脂血の疑いがある児童もいるといわれる昨今です。経済の成長と共に食生活が外部化して来ていますが、豊かさの中でもう一度食を見直し、行事食などから暮らし方を見直してみる必要があると思います。

(「発刊のことば」より抜粋 記:「食」の聞き書きの会会長 山上 博子)

お問い合わせ先: 松川町中央公民館 ☎36-2622





厳しい稽古は自分が強くなるため  
 全国空手道選手権大会 個人戦小4の部・準優勝  
**秋廣はづきさん**(中央小4年)



真剣な表情で稽古に励む秋廣はづきさん。昨年スタートした「少女空手クラブ」の一員で、仲間とともに基本から形、組手と、みっちり2時間汗を流します。

8月に仙台で行われた「全国空手道選手権大会」に2年連続で出場し、みごと部門の準優勝に輝き

9月6日、午後0時半から、長野県男女共同参画推進県民会議と、波田町と実行委員会主催のフォーラムが開催されました。松川町からは9名が参加し、盛り沢山の行事を堪能して来ました。

開会式の前のアトラクションとして、波田町少年少女合唱団が

歌を披露して下さいました。澄みきった歌声に皆、心を洗われたように聞き入っており、大変感動致しました。続いて県立梓川高等学校の生徒の寸劇があり、町をあげ

ました。「2連覇を狙っていたのでくやしいです。『形』を決めるスピードが足りなかった」と、試合を振り返ります。

空手を始めたのは幼稚園年長の時。父の哲次さんが飯田下伊那で空手クラブを指導、選手として活躍していることもあって、空手は身近な存在。「お父さんを見ていてかっこいいなと思って。」「昨春、初段の黒帯を取り、強くなるために厳しい稽古にもへこたれませんでした。

将来の夢を尋ねると「空手で活

## すぽっと フォーラム in はたへ参加して

### 下平典子

ました。林家さんは全国で講演会を開き、男女共同参画に貢献されているのだと紹介がありました。「当たり前を見直しましょう！」

「当たり前を見直しましょう！」

一致で賛同致しました。

生き生きと伸びやかに暮らせる、男女共同参画社会の実現に向け、これからより一層地域の住民の一人として取り組んで行かなければいけないと決意し帰路につきましました。

躍できる人になりたいです」と瞳を輝かせて答えてくれました。

■少年少女空手クラブ

毎週火曜18時30分〜21時、町民体育館柔道場で小中学生16名が汗を流す。「稽古の積み重ねが成績にあらわれ、努力することで結果も出る。稽古は厳しくとも強くなる自分を感じられれば、それが楽しさにつながる」と考えています」と指導にあたる秋廣さん。現在、クラブ員募集中。



白い道着に黒い帯。真剣な表情で稽古に励む秋廣さん(写真中央)

## こびの詩

絵日記より  
 松川北小 1年  
 今日、ママとポケモンの映画に行きました。映画の音でちよつと泣きました。けど、おもしろかったです。

つちや りゅうじゅ

今日、お姉ちゃんの友達と遊びに来ました。この5人で川へ遊びに行つて、顔を付けたりして遊びました。冷たかったです。

はら なつき

今日、パパとサッカーをしました。汗をかいたけど、おもしろかったです。

からさわ あきら

ぼくは、今日の朝学校に行く時に、ねこの親子を見ました。かわいかったです。

ながた あゆむ

チツチは、私がピアノをひいている時に、肩に乗って嬉しそうにうたってくれます。とてもかわいいです。

かみやま ねね

今日、写真屋さんで、七五三のドレスと着物を選びました。すごいきれいなドレスと着物でした。

ささき はな

## 俳句

秋 北原泊瀬

天の河たどりて八萬経の寺

萩咲けり萩組たりし夫の書架

残る虫朝の静寂の秒刻む

銀杏の実落ち初むる日や合唱祭

五つほど吾が家の秋を活けにけり

## 短歌

森下延子

姪に似るマスカンのいるブティックについ立ち寄りて春の服買う

煮えたぎる怒りしずめる術もなく  
 蔓たちちかき青菜をゆでる

停車してしばし見守る雛連れし  
 雉が山道渡り終えるを

無人売りのプロッコリーより  
 こぼれ落つる翡翠のごとく透ける青虫

老眼鏡・葉袋に懐炉など  
 旅の荷物は年ごとに増す

# 声

## チユオン チユオン

川 又 光 明

古町の岩崎敏宏君とたまたま話す中で、このベトナムの民芸品「チユオンチユオン」という、絶妙に枝先でバランスをとる竹とんぼを知りました。製作は障害者（枯葉剤被害者含む）孤児達により現地で作られ、県内のNGO組織が扱っています。一匹四円で買って頂き、その全てがベトナム弱者支援の為に使われます。何と思ったか、数ある活動がある中、気紛れな自分は、岩崎君に無理にお願いし取り寄せてもらいました。直後、

行なわれた松中、松風祭のバザール会場に置いていただき、取り敢えず知ってもらえればと思っていました。2日間で40匹近くが、心ある皆さんのお陰で町内へ飛び立っていきましました。趣旨賛同もさる事ながら、色合い・バランス感と見た目の可愛さも気に入って貰えたのかもしれない。この竹とんぼが、一寸ずつ皆さんの目に触れる一助になればと思います。

（現在、松川では岩崎君が扱っています。）



↑チャーシュー!! ↓メーン!!



## 町民ゴルフ大会に参加して

上大島 萩原 太一

9月15日、高森カントリークラブにて、第1回松川町民ゴルフ大会が行われました。天候が心配されましたが、雨も降らず、1日プレーできました。競技の方は、前半終えたところで46回練習していない割にはまあまあかと思っていたのですが、後半スタートから二連続バーデー、その後も調子良く、34回という、出した事も無い様な良いスコアが出せました。成績も運よくペリアにはまり、7位に入賞。賞品まで頂くことが出来、楽しい1日となりました。

一緒にプレーして頂いた上大島の水野さん、上新井の林さん、西川さんと、時には真剣に、時には冗談を言い合いながら、親睦を深めました。ゴルフは個人競技ではありますが、年齢や職業が違う見ず知らずの人達が、1日一緒に過ごす中で、プレーだけでなく、仕事や地域などの世間話をし、互いに交流を深める事が出来る素晴らしいスポーツだと改めて感じました。

今大会を計画、運営、実行された役員の方々、大変ご苦労様ございました。この様な素晴らしい大会に、来年も是非参加したいと思えます。

# 草

松川町では「あいさつ運動」があつて、子どもから挨拶をされる機会が多く良い事だと思えます。私が、月に2・3回程通っているゴルフスクールの子どもも元気に挨拶をしてくれます。仕事で疲れた状態で少し遠い練習場まで行くと、「こんばんは」と声をかけてくれ、帰りにも「お疲れ様でした」と言つて親と帰って行きます。挨拶をする事は普通の事です。私は子どもから見たら時々レッスンを受けるオジサンな訳で、普段から度胸をつけているのかと思いきや、子どもがゴルフを競技でする事は親の協力が無いとできない訳で、親に感謝・先生に感謝させる意味でも、ゴルフの技術だけでなく人間性も教えてくれるそうです。どんなスポーツもそうですが、ゴルフは特にマナーに厳しいので。

挨拶をされると、こちらからも話し掛けやすいし、練習にもやる気が出ます。ゴルフは余力んでは駄目ですが、..  
ちなみに、レッスンを一緒に受けている子ども達を、今まで対等な感じで書いてきましたが、実は私よりも上手でコンペで優勝する程の腕前です。それでも謙虚に練習しているのが夢を目標にして、頑張つてほしいものです。

松下佳史

公民館報

「まっかわ」

第 540 号

平成20年10月15日

発行所 松川町公民館 佳部  
 責任者 塩澤三 佳部  
 編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)